



1. ゴムボールの中に入っているのは空気。  
では、うきわの中に入っているのは?
2. あなたはバスの運転手です最初のバス停でお客様を10人乗せました。  
次のバス停で3人乗せました。3番目のバス停で5人降りて1人  
乗りました。4番目のバス停では2人降りて誰も乗りませんでした。  
さて、バスの運転手の年は何歳でしょうか?

## ひりーだむ



こんにちは。最近らつ下の弟が結婚し実家で肩身の狭い三宅です。  
今①は、前①に引き続き航海実習の模様について、日本丸（帆船）ではなく、  
青雲丸（ディーゼル船）と言う船で世界一周した時の航海について書きたいと  
思います。

この実習で私が一番記憶に残っているのが、バルボア（パナマ）からリスボン（ポルトガル）に向かう航路でした。バルボア港は太平洋側からパナマ運河を航行する入り口の港です。地理の授業等で一度は耳にした事があるパナマ運河ですが、少し変わった構造をしているのをご存じでしょうか？

この運河は、入口の港と運河中央の湖の海抜の高さが違うため、運河が階段状（下図参照）になっていて水の力をを利用して、船を持ち上げたり下げる構造になっています。下の写真がパナマ運河の一部ですが、真ん中の門を挟んで前方の水位が高く手前が低い状態なのですが、低い方へ海水を注水し前方の水位と一緒になった所で、門を開き前に進む事が出来るようになります。下りは逆で、海水を抜水して水位を下げて進みます。実は、この運河通行前に、ちょっとしたアクシデントがあり、実習が中止になりました。しかし、努力の甲斐あり少しの予定の遅れのみで、運河を無事渡り切れてみんなホッとしていました。その後、カリブ海で船酔いを覚悟していたものの（いつもは大荒れなので）、珍しく穏やかで、遅れていた予定を見事に取り戻し予定より早くリスボンへ到着する事ができました。私にとって残念だったのが、友人が病気になり到着後日本へ帰国してしまった事です。船内にはお医者様も乗っていたのですが・・・。

ちなみに、この後、別の友人が盲腸になり船内で手術をしこの友人は実習を最後までやり通せました。



## ►►►►► 真夏の床暖房講座!!! ◀◀◀◀◀◀◀

みんなが良いとっている輻射暖房の床暖房。じゃあなぜ良いの?

熱の伝わりかたは伝導・輻射・対流の3種類があります。床暖房は主に伝導熱と輻射熱です。伝導熱はいわゆる触れて伝わる熱で、例えば夏に板張りの床に寝転がるのは大変気持ちよくて、冬に冷たい便座に座るとピューと飛び上がる程の思いをします。これは人が空気に触れている部分よりも物に触れている部分のほうが体感への影響が大きい事を示しています。次に、人の温度感覚は体の表面温度ではなく熱が体から逃げていく（放散）量によるという考え方があります。安静時に5.2W/m²程度よりうわまわると寒く感じ、したまわると暖かく感じるといわれています。この事を床暖房にあてはめると室内の上下温度差が少なく、床面温度は体温より低い28°C程度で接触面の影響もあるし、人体の熱の発散も少なくなる。真冬に室温18°Cでも寒くありません。だから床暖房は良いのです。

暑いので今回はこのへんで。



1. かなづち 2. 運転手はあなたなので、あなたの歳



いつも『ぽかぽか新聞』のご愛読ありがとうございます。  
8月になり、暑さが苦手で外に出るのがいやになっているサン・フロアホーム（株）の東です。暑い時期には、暑さを乗り切る栄養をつけるために、土用の丑の日にウナギを食べることはよく知られたことです。この習慣についての由来には諸説あり、江戸時代の「平賀源内」が発案したという説が最もよく知られています。「夏場にウナギを売るためにうなぎ屋に頼まれて、丑の日に『う』の字がつく物を食べる」と夏負けしないという民間伝承からヒントを得て、「本日丑の日」と書いて店先に張り紙を出して宣伝し繁盛したそうです。

さて先日熊本に仕事に行き、今回は宿泊を伴ったので、熊本名物の『う』のつく物を食べました。そう「馬肉」です。（これは「ばにく」と読み「う」はつかない。なんてこまいこと言わないでね。）馬刺しから始まりレバ刺し、たてがみ、ホルモン焼き、馬焼等、すべてを食べ尽くしました。とても栄養がつき元気になりました。私はウナギが食べられないで、今年の土用の丑の日には『う』のつく「馬肉」でも食べるかな。たしか市内に専門店があったな。



## 野球観戦へ行きました



よっちゃんの巻



あいにくの小雨が降る中でのプレー。

対戦相手は中日ドラゴンズ、知ってる選手は谷繁、和田、あとは落合くらいか。広島のピッチャーは中村恭介、なかなか良い感じです。

スコアは0が並ぶ緊迫した試合です。耐えられない私は定番カープうどんを食します。「あれ? カープうどんおいしくなった。前はもっとこう粗末なもんだったよねえ。」と、ほめているのか、けなしているのか、分かんない事を言います。失礼をいたしました。肝心の試合結果はカキーンと前田、石井の名球会コンビの活躍でとーぜん勝ち。本日のヒーローインタビューもこの二人でした。「あの人達41歳なんだって。お父さんと同じ年じゃね。」と太郎くん。…あんまり比べてほしくないです。

## CADオペレータの安東です。

昨年6月に女の子を出産し、約1年間産休・育休を頂き、4月末に仕事に復帰致しました。長い間お休みを頂き、ご迷惑をおかけしました。

お休みの間は、実家のある「大草原の小さな家」で大部分を過ごし、長男は毎日、野菜を取りに行ったり田んぼに出かけたり、虫を探しに行ったり、祖父母とのんびり田舎生活を楽しみました。5年ぶりの赤ちゃんは、手をかけすぎたのか、抱っこ大好き、寝ない、離れないと母を一日中困らせる子ですが、長男が保育園から帰ると母はやっちらっちで大好きなお兄ちゃんにちょっかいを出しては亀のようにひっくり返され、もがいてまたちょっかいを出しに行きます。

2番目だけあって倒されてもなかなか泣かない強い子です。泣き虫だった長男も妹に負けまいとちょっとのことでは泣かなくなりました。でもたまに甘えたくなり、涙がぽろり。その涙をまた妹がつづきに行き再び亀にされる・・・。ほほえましい光景を見守る毎日です。まだまだ毎日戦場の我が家ですが、仕事に保育園に家事に、早く慣れて元気に過ごして行きたいと思います。



床暖房のことなら私たちにおまかせ下さい!!

**サン・フロアホーム株式会社**

〒736-0083 広島市安芸区矢野東4丁目13-10

082-888-5137

FAX 082-888-5243

www.sanfuroa.com

info@sanfuroa.com

# ぽかぽか新聞

2011・8  
Vol. 32